

たかはる移住の窓口通信【第六号】

[発行元]
高原町
まちづくり推進課
H30.3発行

[移住の窓口]
HPはこちら



裏面も
ご覧下さい

皆さん、こんにちは。
「移住の窓口通信（第六号）」
です。

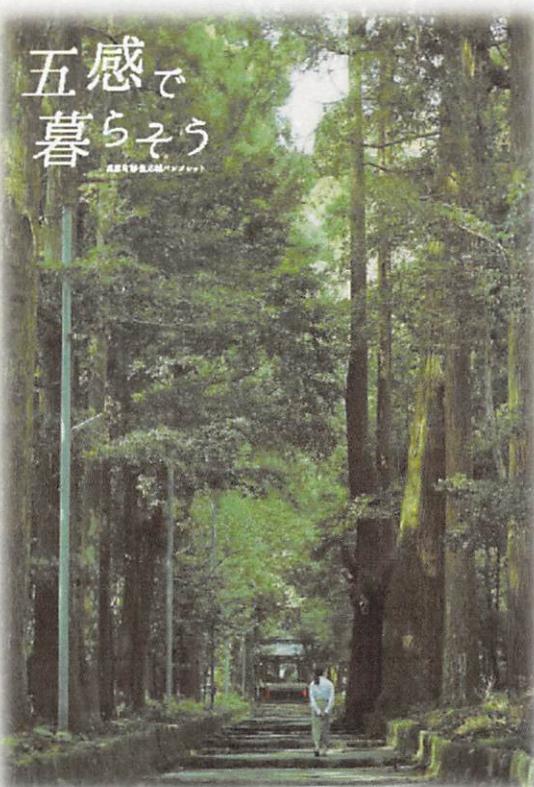
この通信は、町内の方々
へはもちろん、町外の方に
も向けて、移住相談員の目
線から「**高原町の魅力**」を
発信することを目的に発行
しています。

昨年度制作した「高原町P
R動画」のイメージを踏襲
しつつ、美しい景観と魅力
的な人々の姿を瞬間的に切
り取った内容で、手前みそ
ながら「**す、素晴らしい**」
の一言につきます。

今号では、このアプローチ
ブックの制作過程に迫り
ます。

このほか、本町の暮らし
にまつわる支援制度をまと
めた「ガイドブック」の作
製にも関わらせていただき
ました。こちらは3月末の
完成予定です。今号では、
このガイドブックの事も併
せてご紹介いたします。
(詳しくは裏面を御覧くだ
さい)

さて、前々回（第四号）
の通信でも少し触れましたが、
今年度中の完成に向け
て取り組んできた「移住ア
ップルーチブック」が、無事
完成いたしました！ 気にな
る出来栄えですが、



アプローチブック表紙
「五感で暮らそう」

宮崎県MAP



高原町基本データ

- ・人口 8,921人(H30.3.1現在)
- ・気候 年間平均気温 約16°C
- ・教育 保育所(園):5 認定こども園:1
幼稚園:1 小学校:4
中学校:2 学童施設:4
- ・医療 病院:3施設(うち小児科1施設)
歯科:3施設 眼科:1施設

移住相談員「木力ちゃん」の活動報告書

移住アプローチブック

この冊子は、移住プロモーションアドバイザー事業の一環として取り組んできたもので、完成までの間、何度もアドバイザーとの話し合いを重ねてきました。

①アドバイザーヒアリング

まずは、町の概要や制度についてのヒアリング調査が実施されました。そして、1誰をターゲットにするのか。2どのようにアプローチするか。3などについても話し合いました。

②コンセプト決定

結果、あの美しい「高原町PR動画」の雰囲気を生かしつつ、「高原町の暮らしの豊かさを、「五感」×「ビジュアル」×「ヒト」で伝えよう」というコンセプトで、自然の中での生活に関心の高い子育て世代層にアプローチするツールを作ることに決定しました。キヤッチコピーは、「五感で暮らそう」です。

③いざ取材！ロケハン実施

まだまだ残暑の厳しい9月中旬。アドバイザーと私たち、そしてプロのカメラマンも同行してロケハンを実施。撮影対象は、町内のビュースポットや移住者の方々です。移住者の皆さん、



取材・撮影の様子

高原町に移住した理由は様々ですが、インタビューしてみて感じたのは「素晴らしい自然・景観に魅かれた」とも大きな理由だったということ。

特に高原町のシンボルと言つても過言ではない「高千穂峰」は、見る人すべてがその雄大さを感じ、パワーがみなぎってくる山だと強く感じます。その魅力も移住先を決めるうえでの大きな理由となつたのではないでしようか。

暑い中、撮影にご協力いただきました皆様有難うございました。このアプローチブックは、首都圏での移住相談会で配布するほか、役場まちづくり推進課にも設置いたします。この冊子をフル活用し、高原町の知名度アップに取り組んで参ります！

暮らしさポートガイドブック

本年度は、もうひとつ、町で実施している様々な生活支援の情報をまとめたガイドブックを作る事業にも取り組みました。

①庁内編集会議の開催

今回のガイドブックは、特に若者世代が興味を持つ情報を集めよう！』ということで、移住、雇用、住宅、子育て、教育などに関わる職員と移住相談員とで編集部を結成。



編集会議の様子

しました。現在、校正作業に入っています。

このガイドブックは、町の設置や保育所等を通じての配布、「移住の窓口」特設サイトへの掲載などをやっていく予定です。

このガイドブックを上手に活用いただき、快適で楽しい高原ライフを送ってくださいね！



ガイドブック原案

次は素材撮影です。関係各所に依頼を行い、お仕事中の様子などを撮影させていただきました。撮影にご協力いただいた皆様ありがとうございました。

③ようやく原案完成

2月によくやく原案が完成